

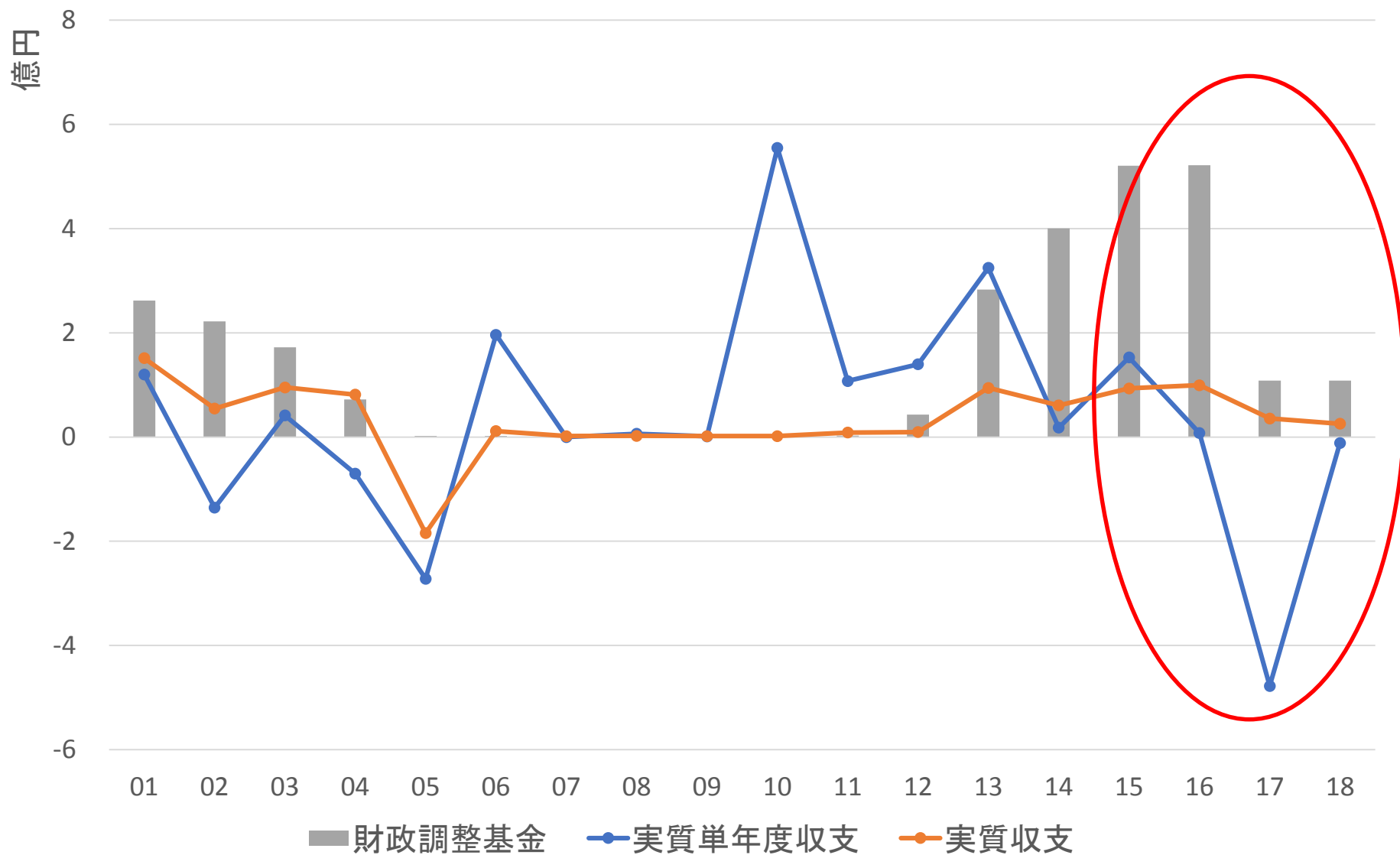
宮津市財政の現状分析

2020/9/8

宮津市市税等のあり方検討委員会

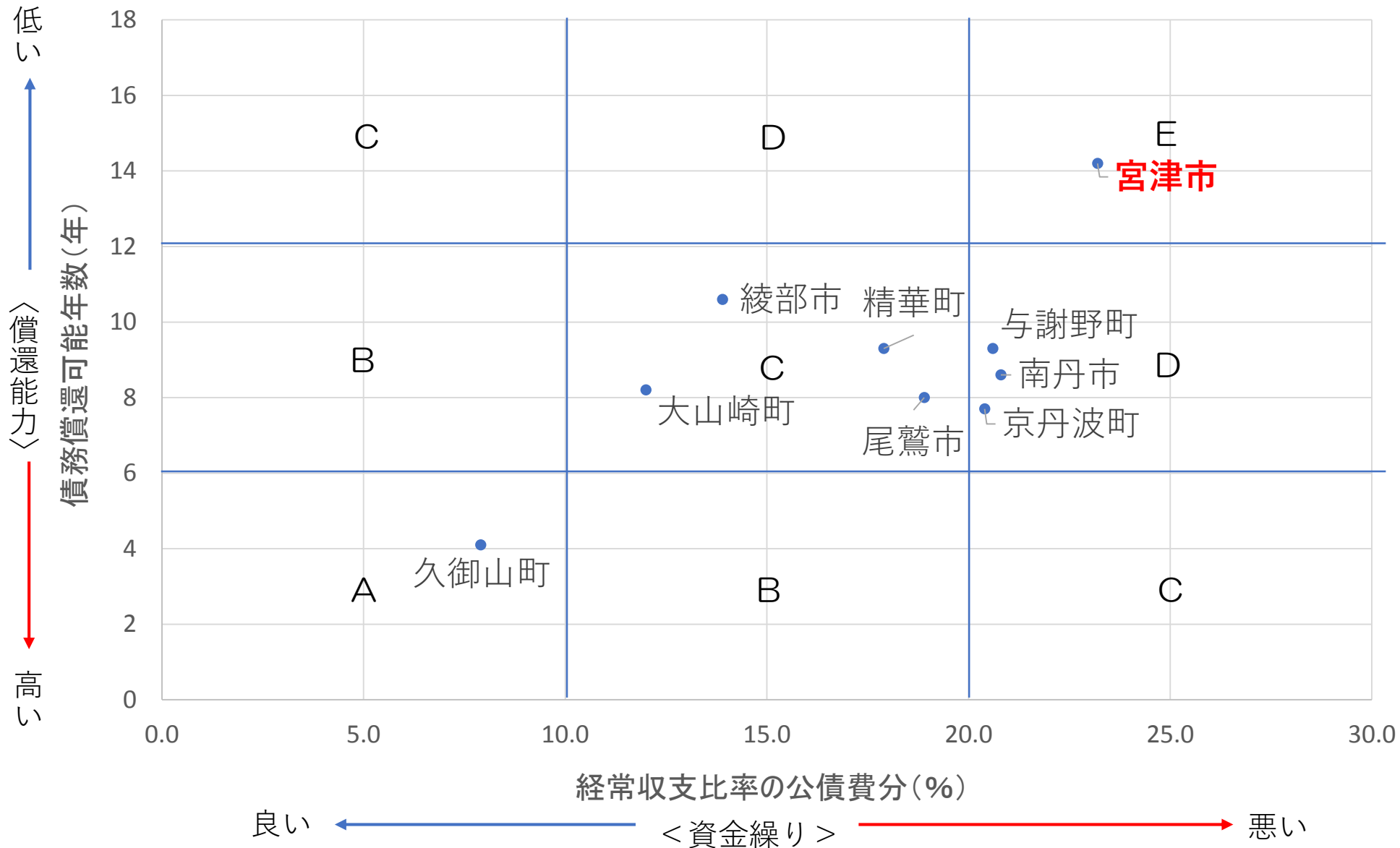
委員 川勝健志（京都府立大学） 作成

毎年の現金収支は健全か？



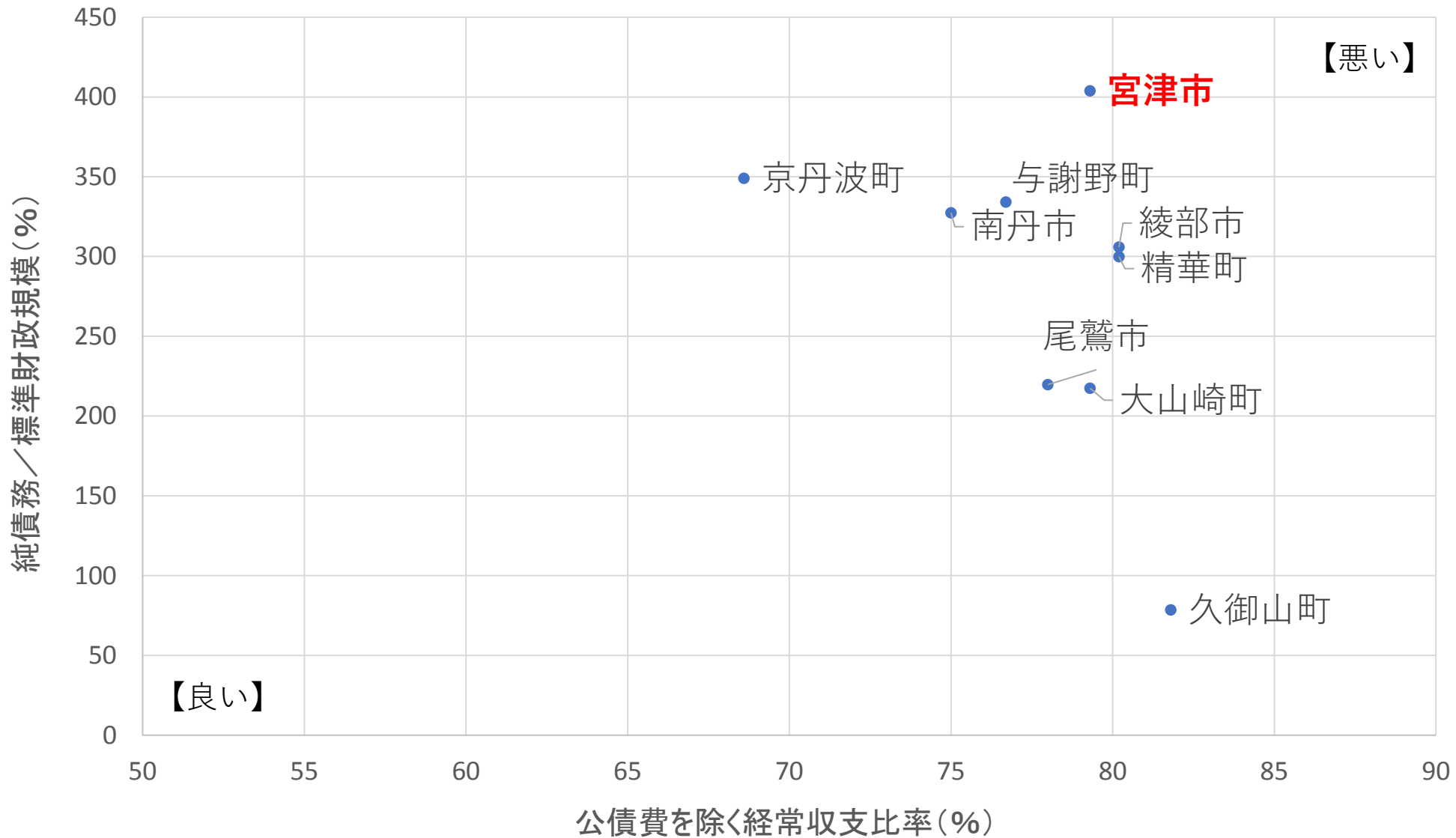
- 直近3～5年に実質単年度収支が悪化傾向
- 17年度以降は財調が大幅に減少し、実質単年度収支が赤字に転落（基金残高は類似団体の中でワースト）
- 実質収支も減少傾向にあり、このペースで赤字に陥れば基金が枯渇して資金がショートする
- 災害等があった場合には、財政が一挙に赤字体質になる

資金繰りと償還能力でみた財政状況（FY17）



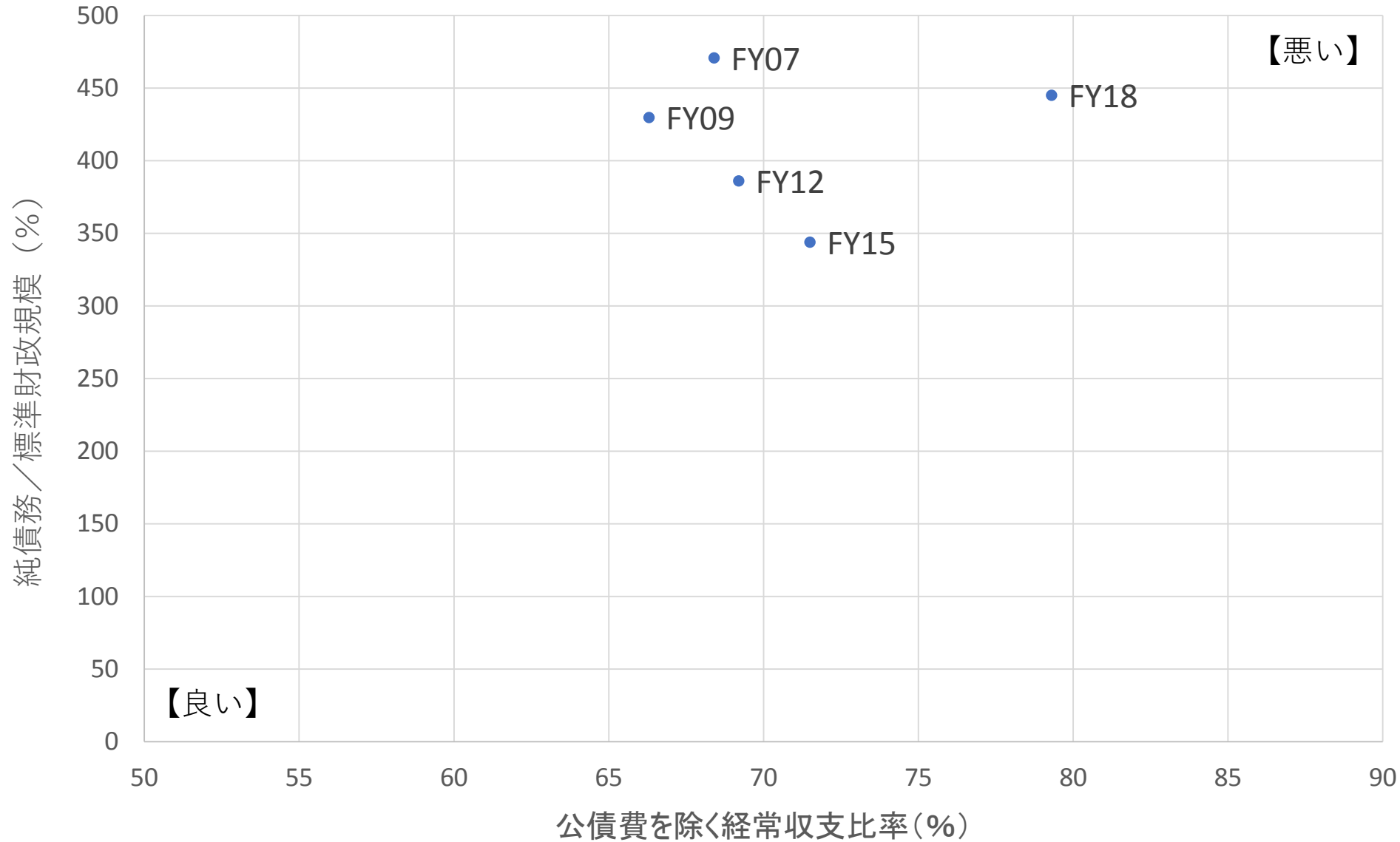
- 償還能力が低く、資金繰りもややタイトで財政状況はEランク
- 類似団体との比較ではワースト

借金は返済可能な重さか？（FY17）



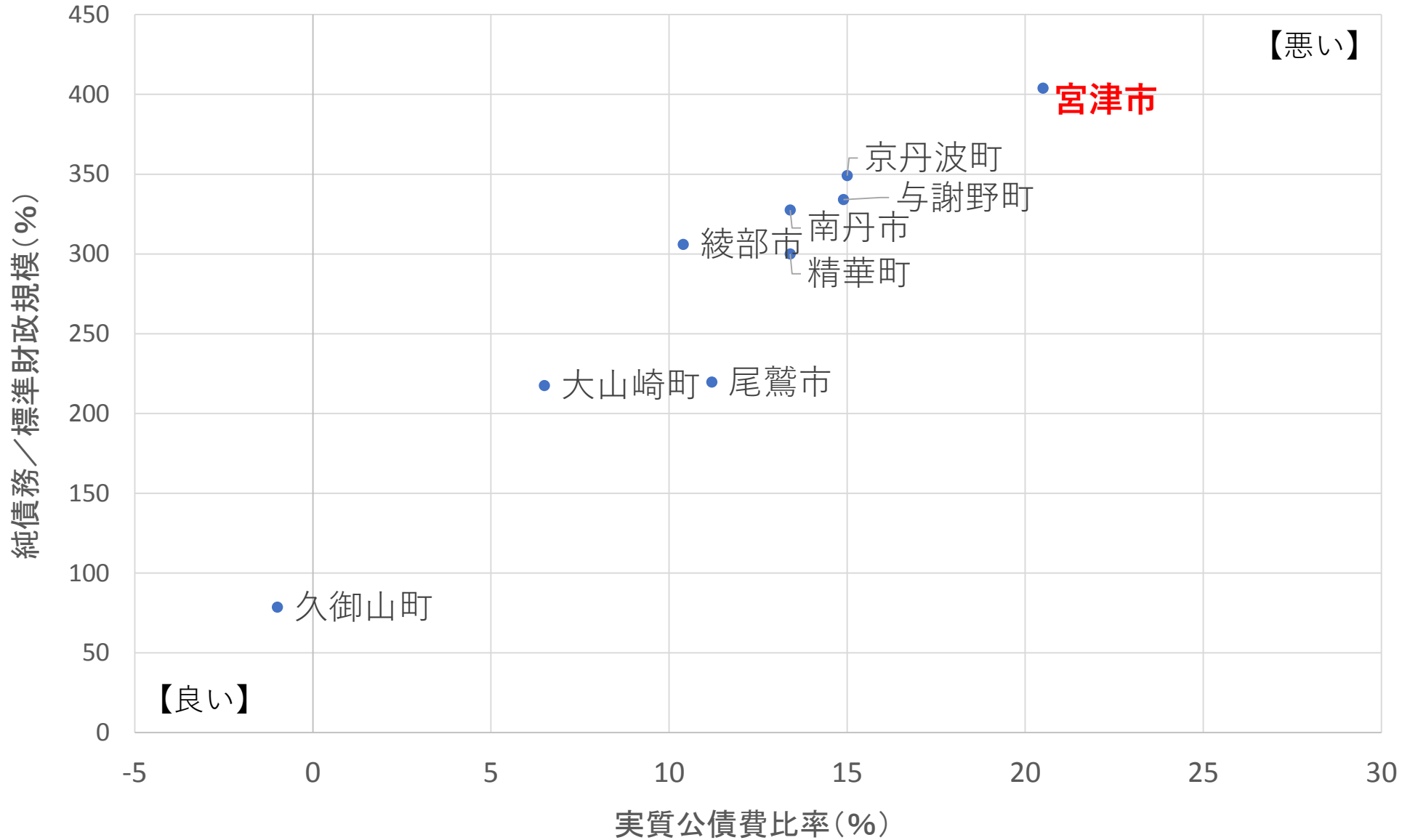
- 償還財源に乏しく、純債務が大きい
- 純債務の大きさについては、類似団体の中でワースト

借金の重さ、これまでとこれから



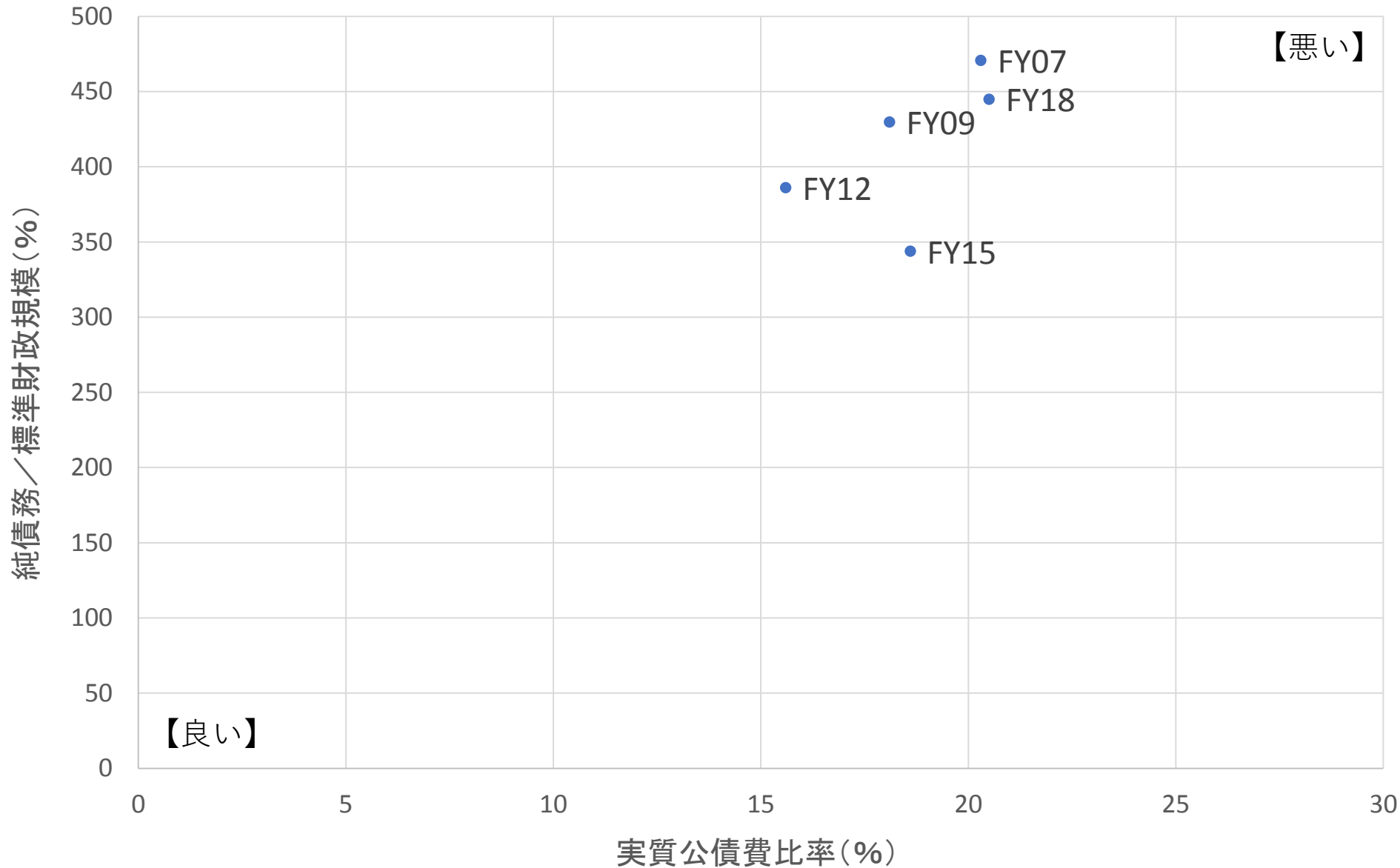
- 純債務はピーク時より小さいとはいえ、近年、再びその重さが増してきている
- 償還財源については、かなり乏しくなっている

借金返済の今とこれから (FY17)



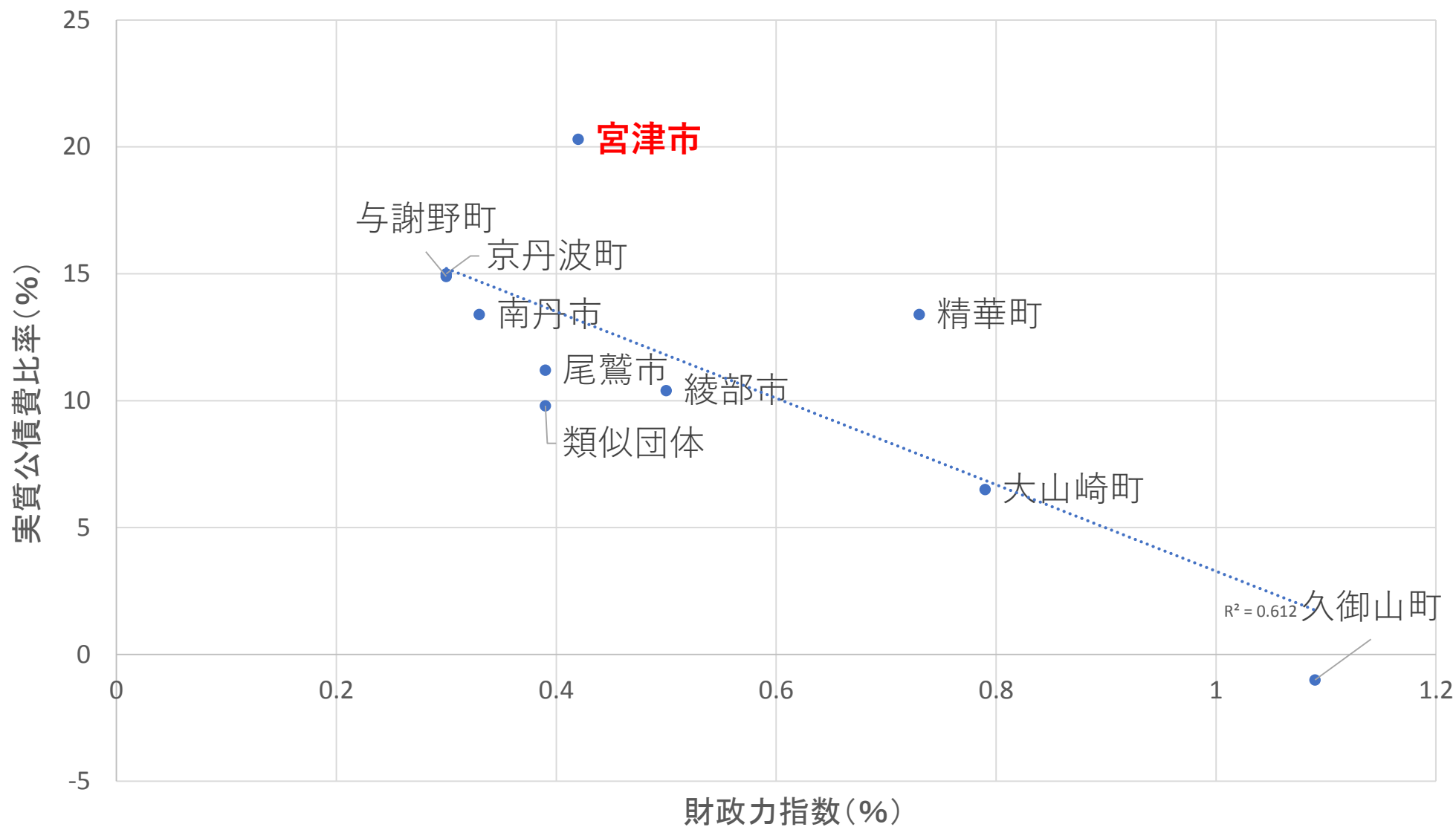
- 現在も借金返済の負担が重い状況にあるが、将来もかなり苦しくなると予測される

借金返済のこれまでとこれから



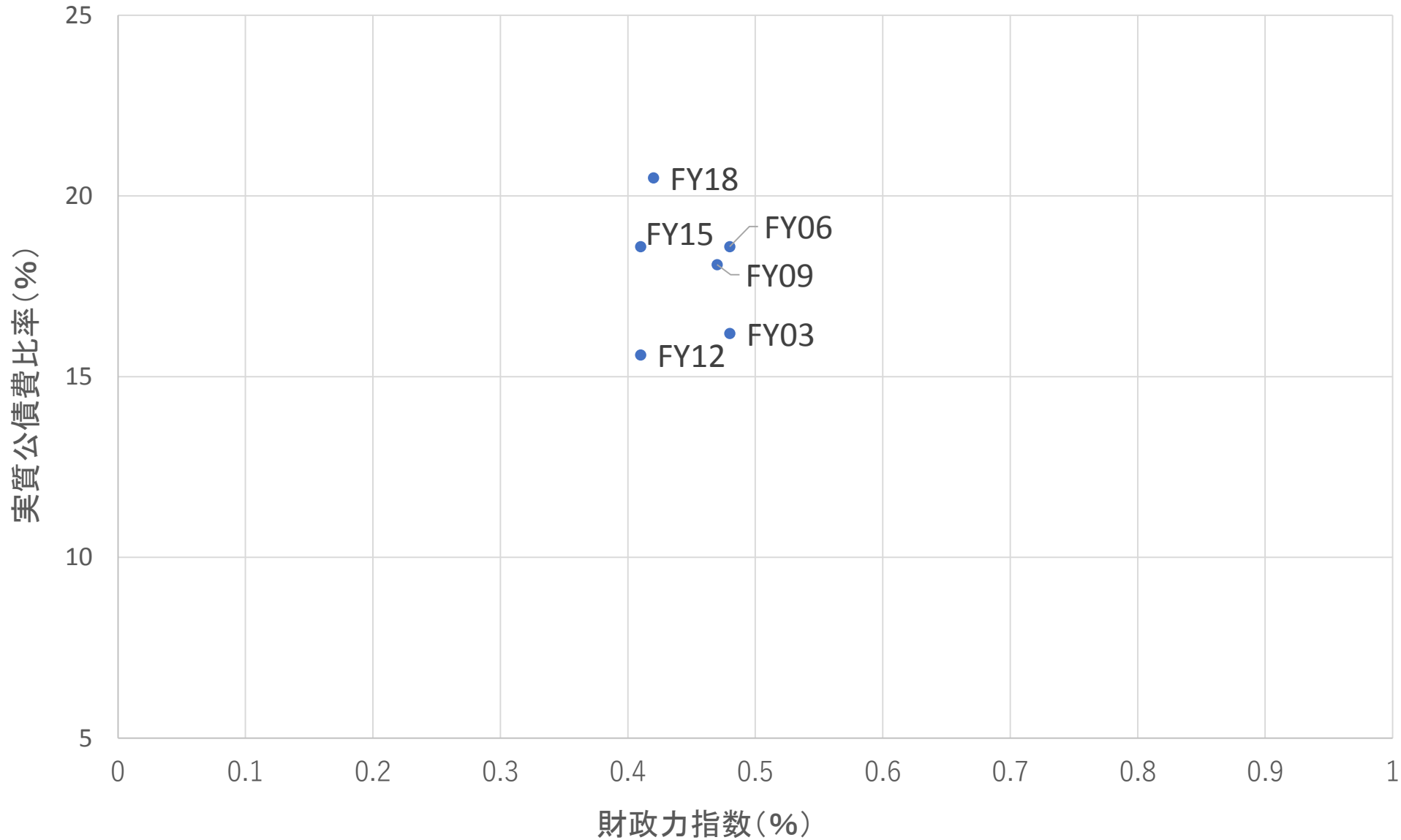
- 毎年の借金返済の状況は苦しくなっている
- ピーク時より借金返済の将来負担は軽減されているが、再び将来負担がかなり苦しくなる可能性が高まっている

身の丈に合った借金をしているか？ (FY17)



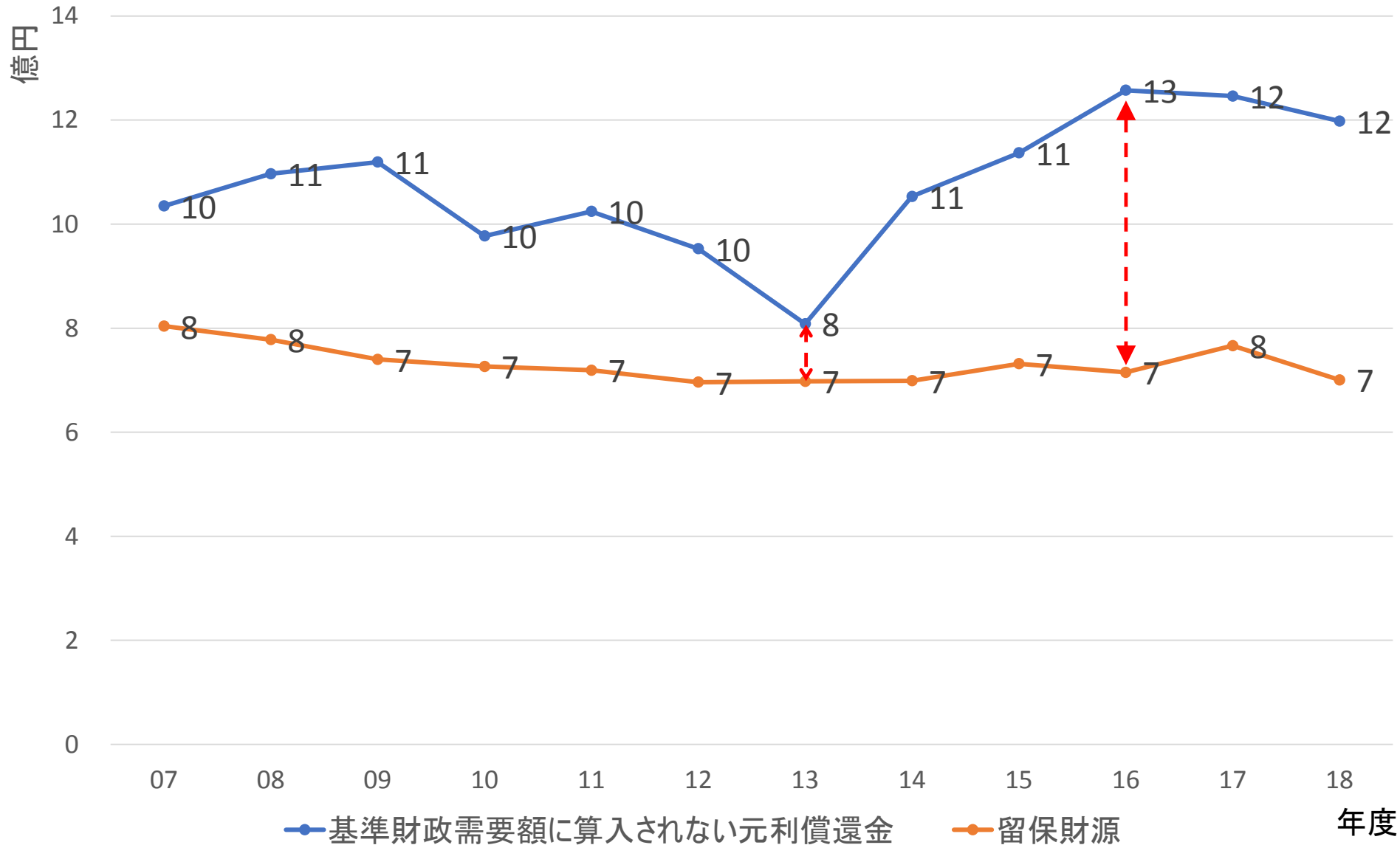
- 財政力指数と実質公債費比率に相関は見られない
- 体力以上の起債をしている

身の丈に合った借金をしてきたか？



- 財政力指数が微減傾向にある中で、実質公債費比率が上昇
- 体力以上の起債を行う傾向が強まっている

財政措置されない公債費と留保財源

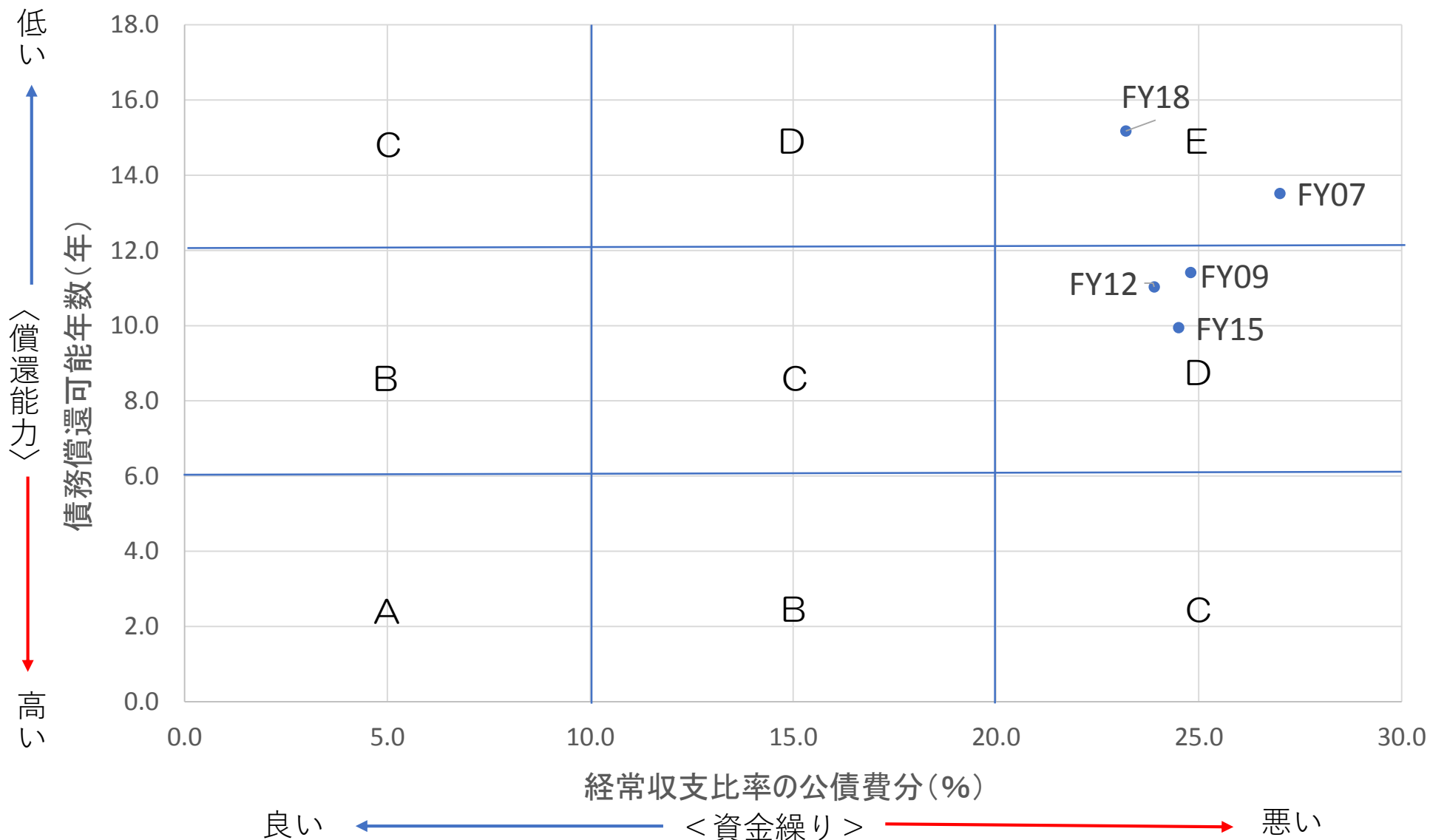


- 基準財政需要額に算入されない元利償還金より留保財源の方が小さい
- 13年度には両者の乖離が小さくなったが、その後再び大きくなり、むしろ拡大傾向にある

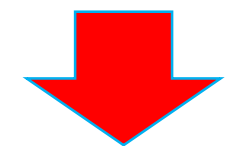


- 償還財源を確保するには、基準財政需要額の中で標準的なサービスの提供に必要な財源を削減しなければならない

資金繰りと償還能力でみた財政状況の推移



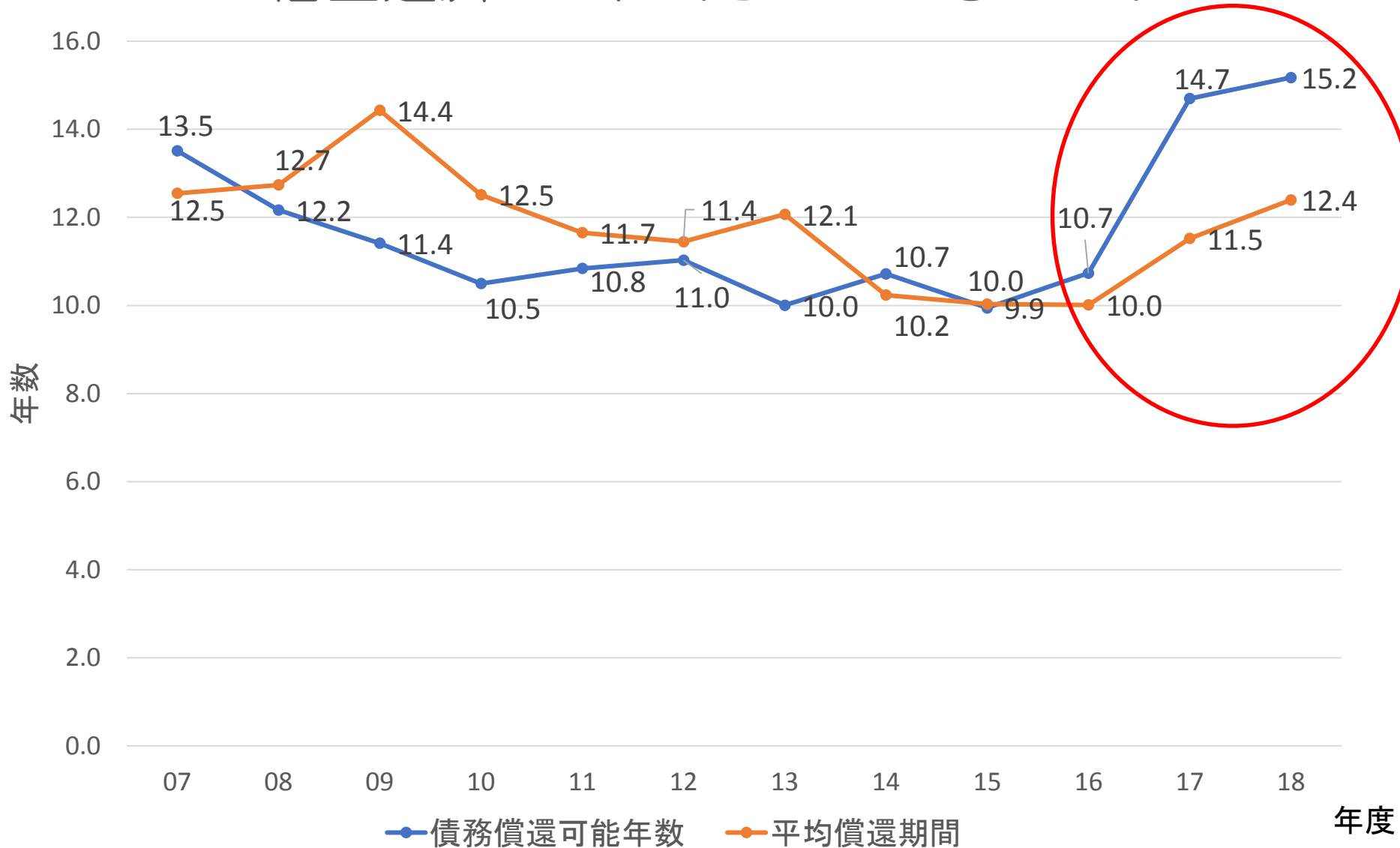
- 財政状況は09年度以降、DランクからEランクへ悪化



- 資金繰りは改善傾向にあるが、依然として高い水準にある
- 償還能力の大きな低下がみられる→財政悪化の主要因

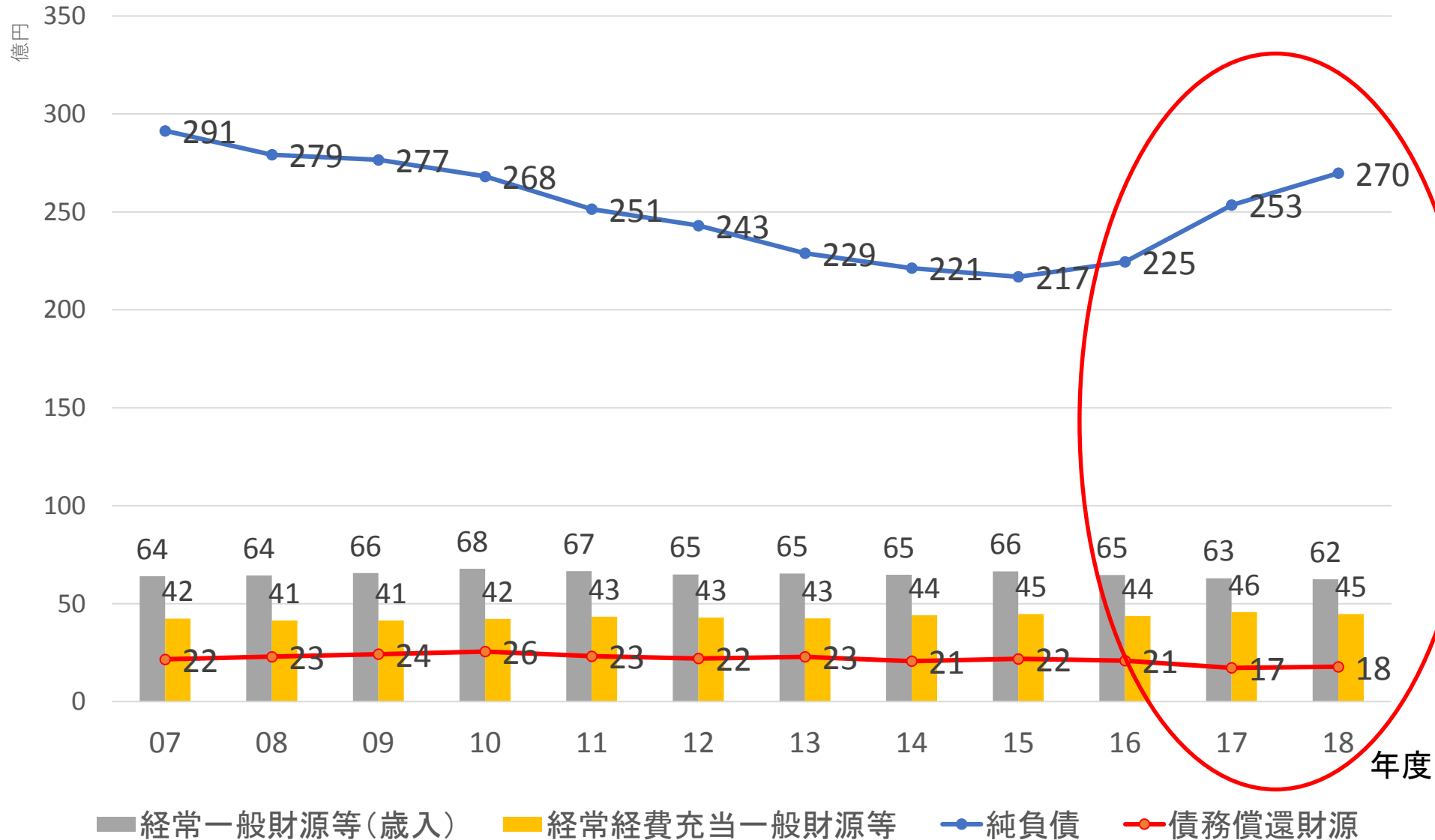
(出所) 宮津市『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

借金返済にどれくらいかかるのか？



- 改善傾向にあった中長期の財政状況が16年度以降に急速に悪化
- 目安は債務償還可能年数 \div 平均償還期間 \rightarrow 少なくとも資金ショートは回避できる
- 債務償還可能年数 $>$ 公共施設等の償却期間 \rightarrow 世代間の不公平
- 現状では歳出削減(or増税)をせずに返済(投資財源を捻出)することは難しい

純債務と償還財源の推移



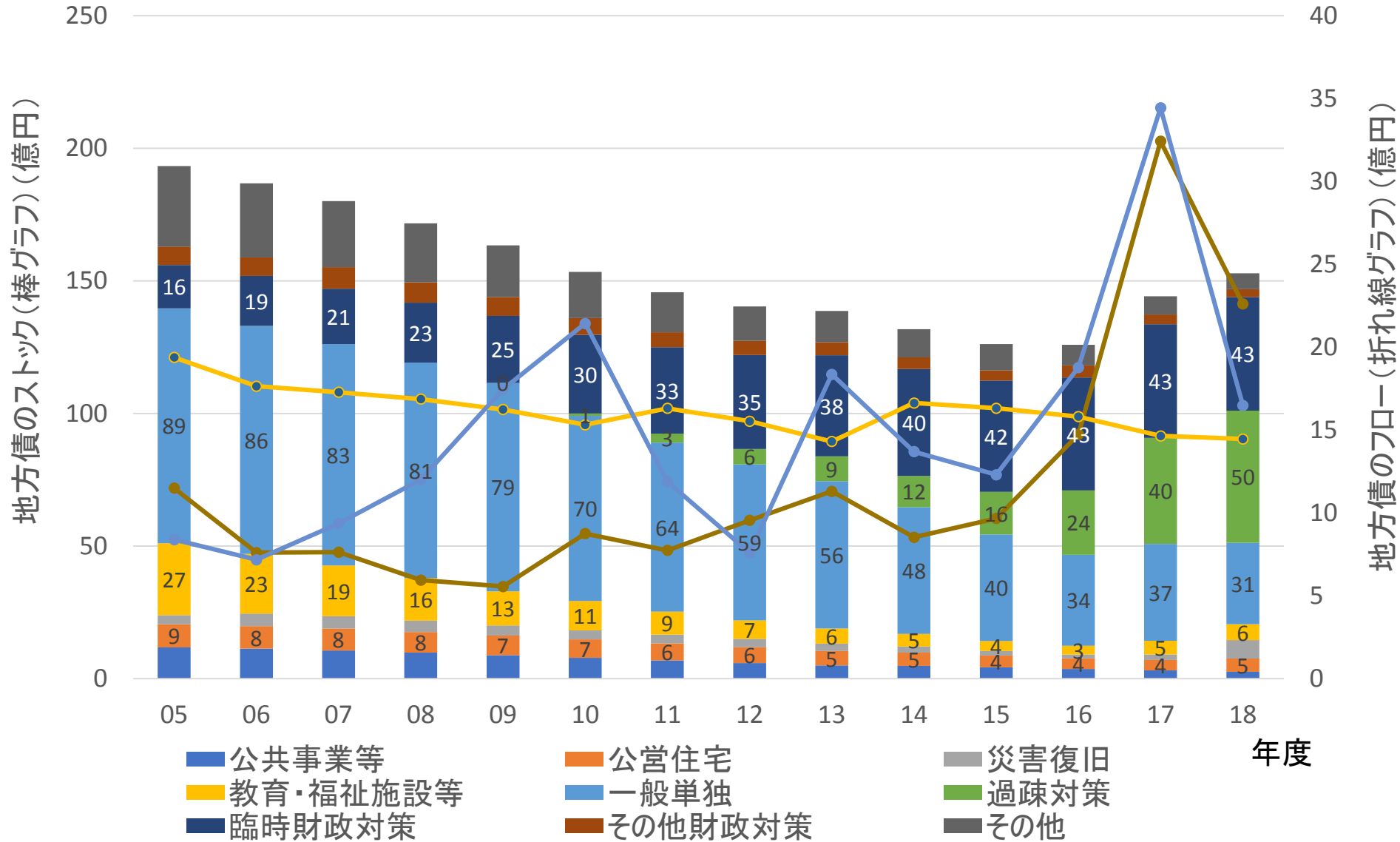
1、純債務の増加

- 起債増発に伴う地方債残高の増加
- 他会計（下水道）が抱える借金返済のための繰入れ見込み額の増加
- 財源不足による基金の大幅な取り崩し

2、償還財源の減少

- 経常一般財源等の減少と経常経費の増加

なぜ純債務は増えたのか？



- 地方債発行額（庁舎の移転・小学校・住宅・公園、道路・橋等の大型事業）が16年度以降に急増
- 減少傾向にあった地方債残高が直近3年間で再び増加
- 地方債残高に占める臨財債、過疎債の割合が増加→将来リスクの可能性（※後述）

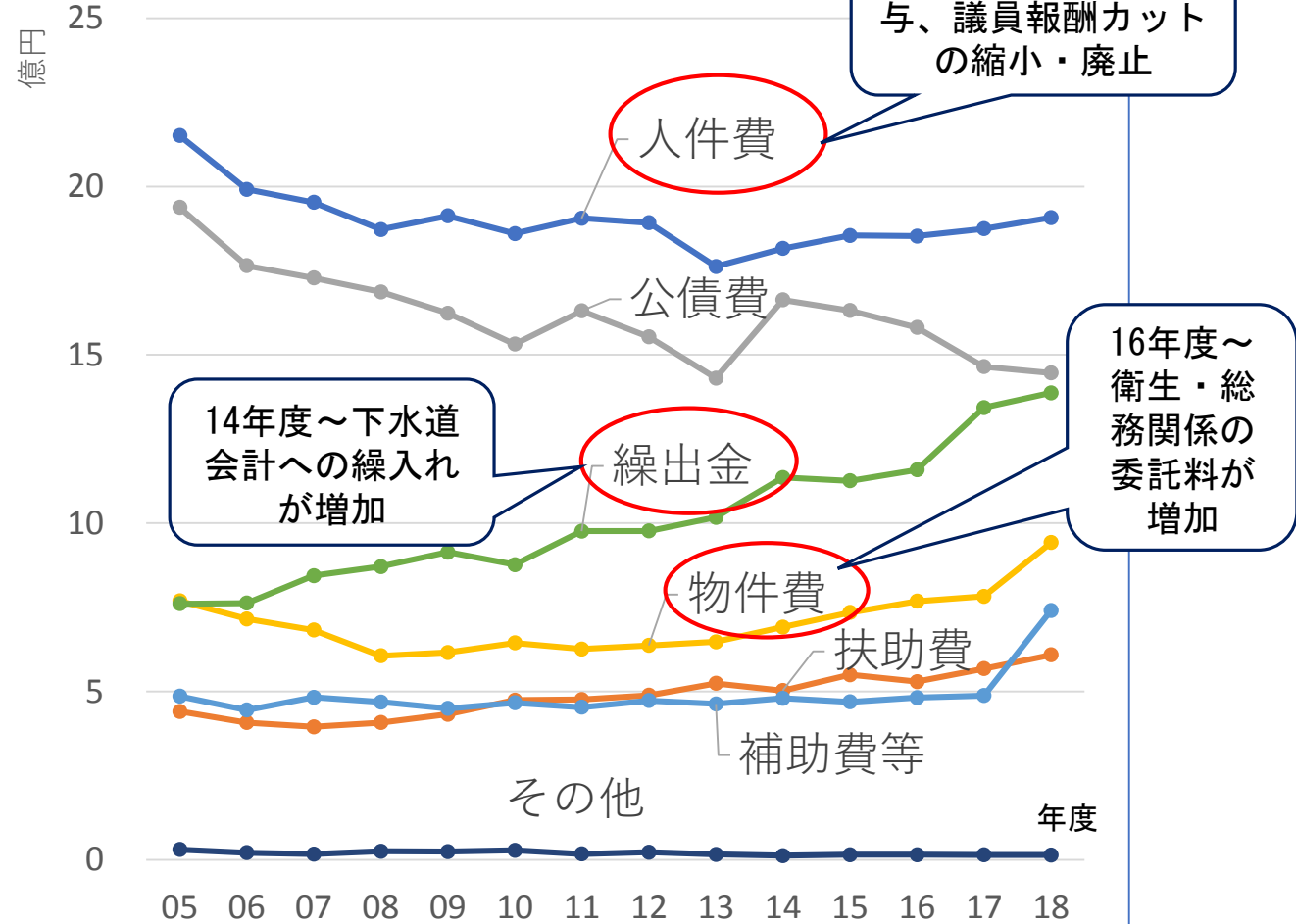
なぜ経常経費が増えているのか？

性質別経費（経常収支比率）の類似団体との比較

経常収支比率	宮津市	類似団体	尾鷲市
人件費	29.8	24.2	22.3
扶助費	9.0	8.8	8.5
公債費	23.3	19.4	18.9
物件費	12.4	13.4	15.8
維持補修費	0.2	1.5	0.8
補助費等	7.7	10.9	16.5
繰出金	21.3	13.9	14.1

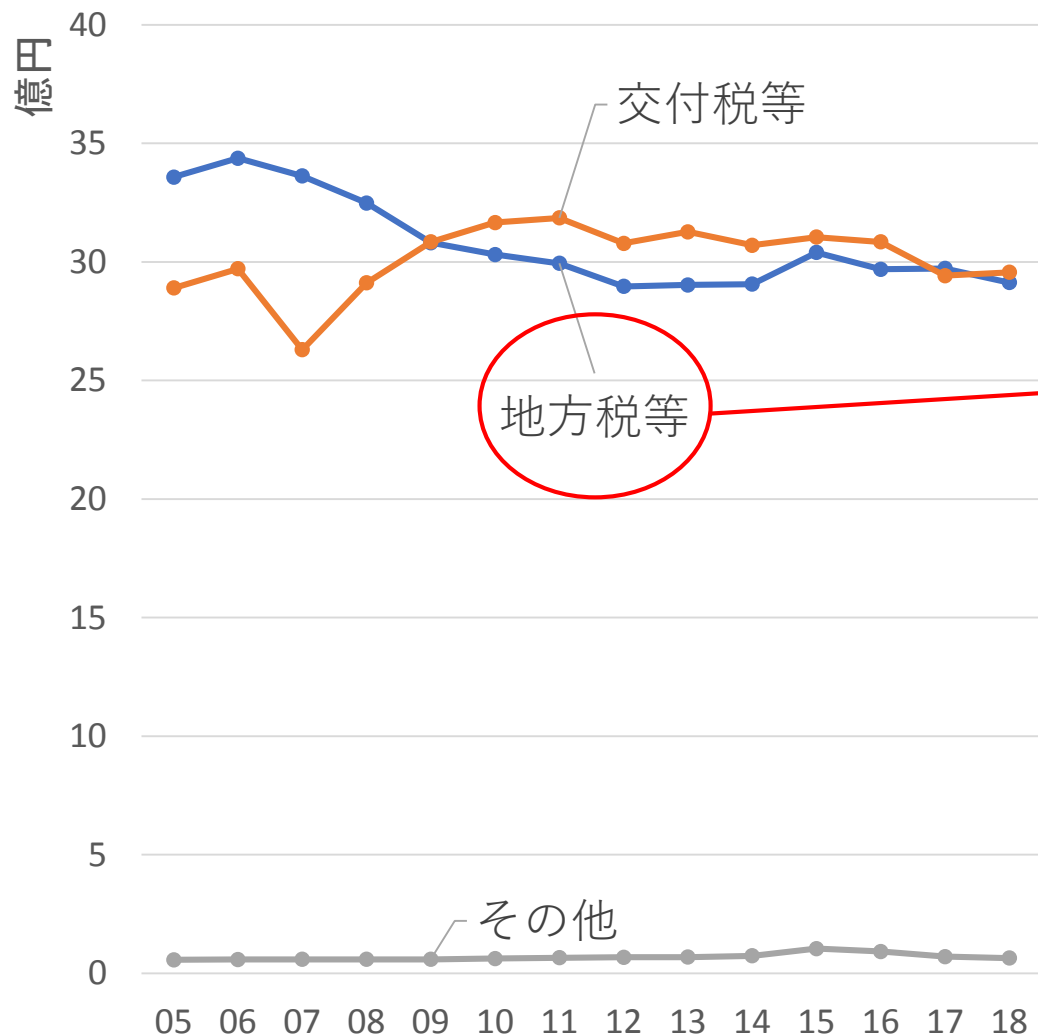
- 全体的にコスト増の傾向にあり、特に義務的経費や繰出金が高い
- 大型事業後の借金返済（公債費）とその後の施設管理費（委託費）が、今後増加することが見込まれる

性質別・経常経費充当一般財源等の推移

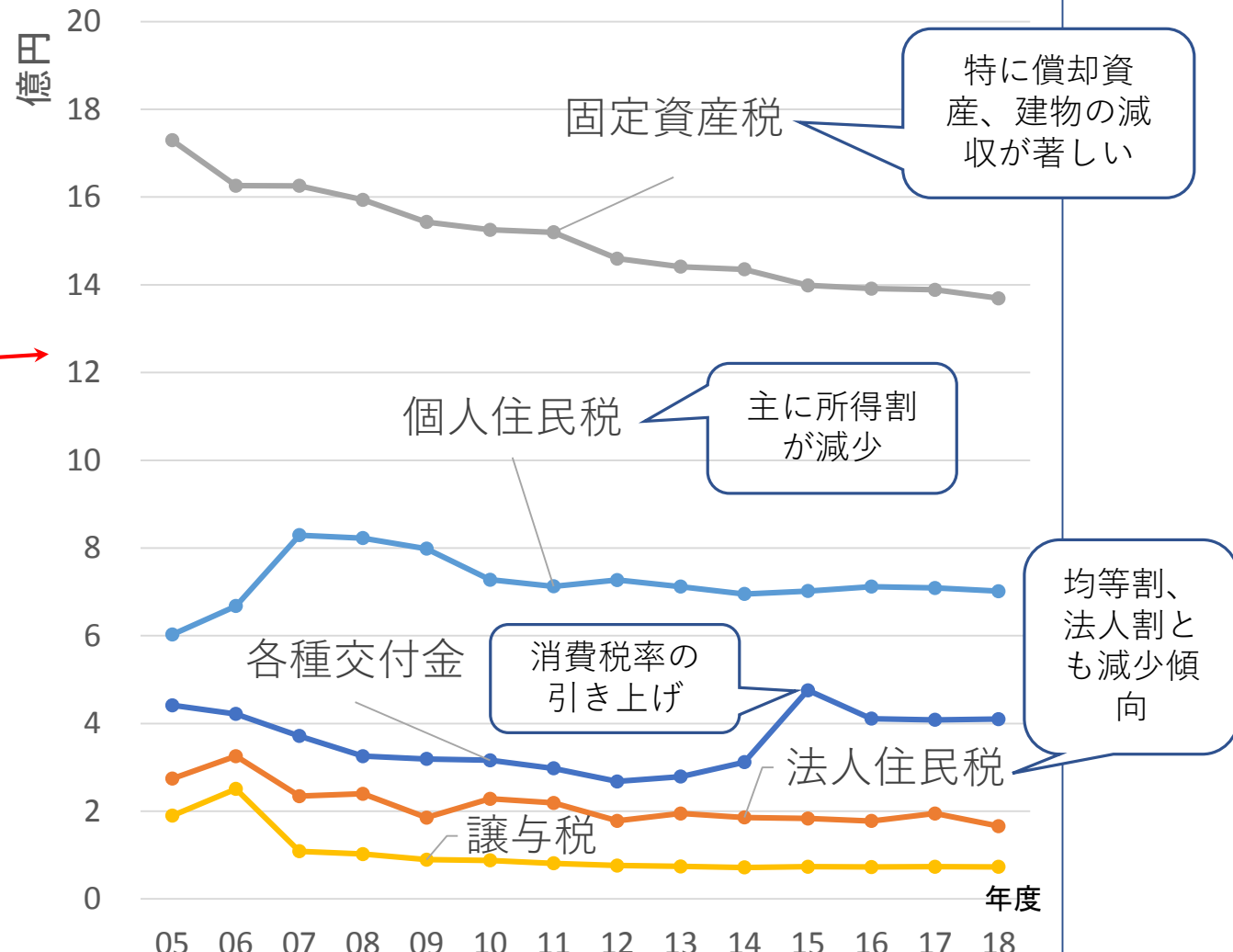


なぜ経常一般財源等が減少しているのか？

歳入・経常一般財源等の推移

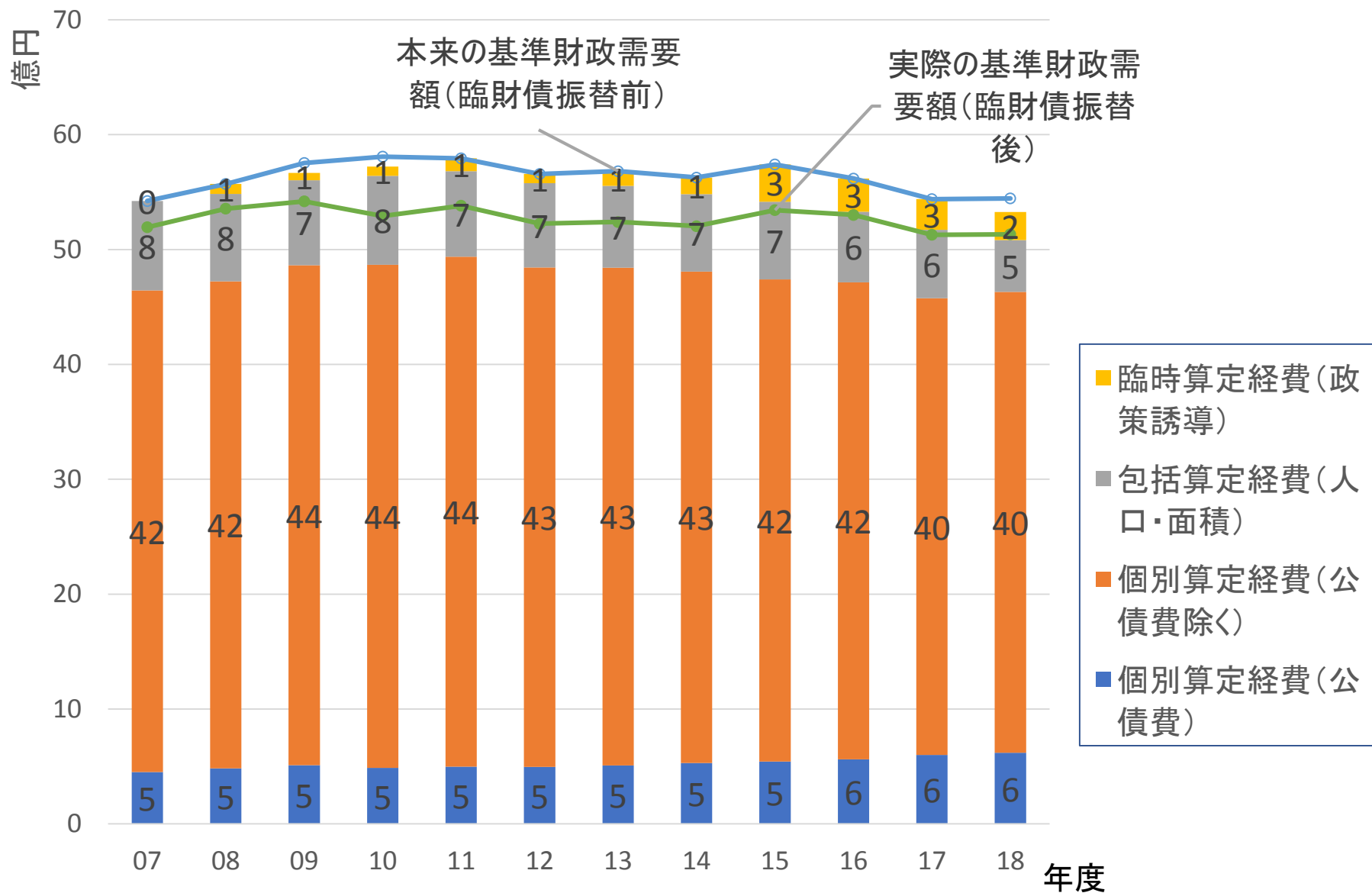


地方税等の内訳とその推移



(出所) 宮津市『地方財政状況調査』各年度版より作成。

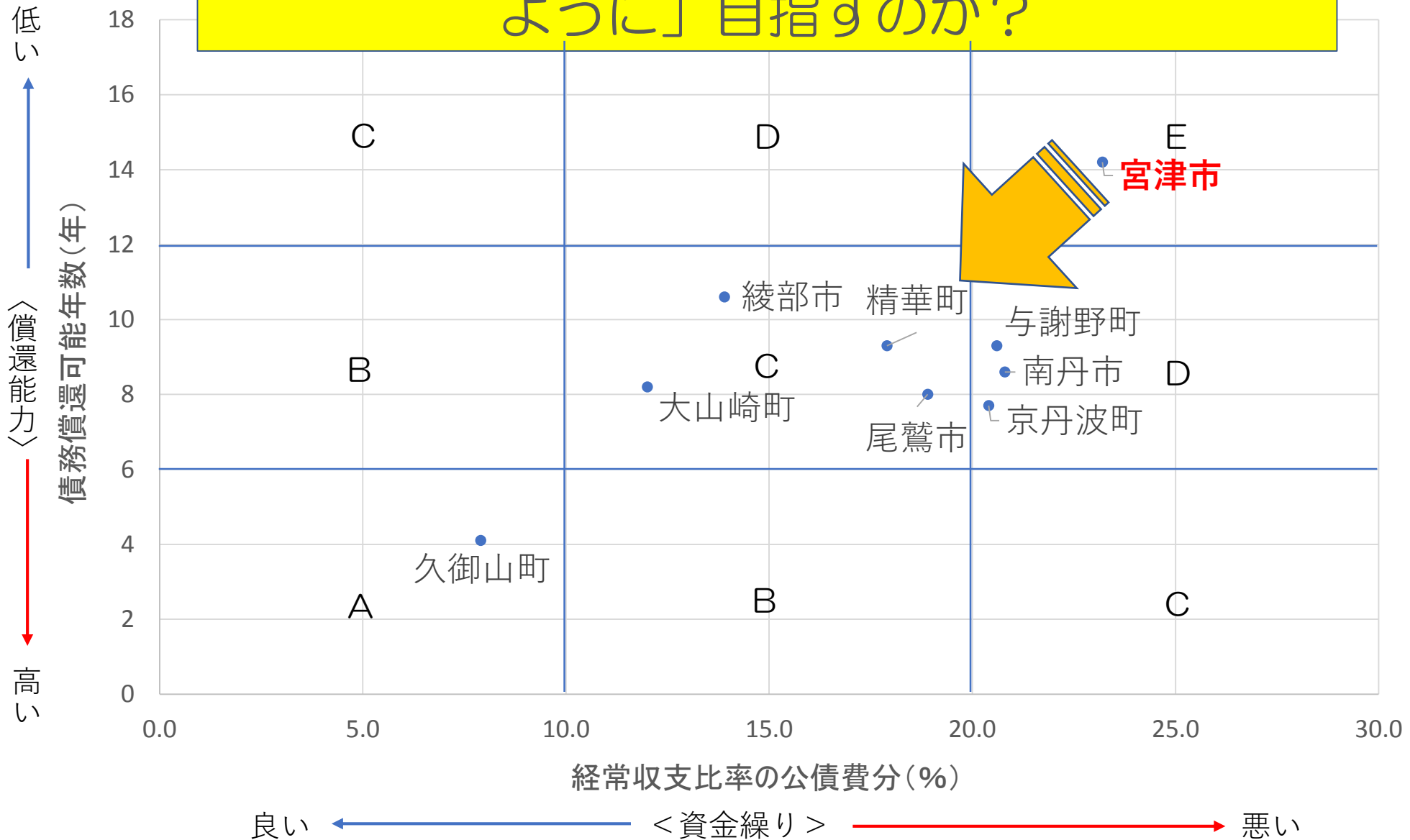
交付税減少の要因とこれから



(出所) 宮津市『交付税算定台帳』各年度版より作成。

- 個人債も見
いや公後が
伴費(今と
に経費がこ
少定経)る
減算定くすれ
口括算除少ま
人包別費減込
 - 国右り
は左あ
費にク
経更ス
定変リ
算策る
時政れ
臨のさ
 - の政に基体る効
債財と、全い置
疎にこが額て措る
(過後るる要れのす
はれい需さそ少
債)さて政減、減
財部置っ財削でが
臨一措な準がの果
- ↓
- を還況縮状す
債償状圧政迫
起(財)が財っる
のるい税、ひな
上の重付と当に
以てが交る相と
力っ源られはこ
体行財かさ況る

今後の論点：「いつまでに」「どこを」「どのように」目指すのか？



- 財政の持続可能性を確保するには、少なくともCランク以上への再建が求められる→債務償還可能年数の上限を設定

財政再建の進め方

- 投資を控え、借金をしないように努める
or 行革で経常経費（特に人件費、繰出金）を抑制し、償還財源を確保
- 税源の涵養、料金等の見直し、法定外税や超過課税等の検討
- 世代間の公平に立脚した投資とまちの将来ビジョン（市民参加で策定した総合計画）と整合的な行財政改革へ

(出所) 各市町『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』平成29年度版より作成。